

佐渡島(トビサカンゾウ)を求めて散策報告



【山行日】2018年6月2・3(土・日) 晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 5:30

【費 用】マイカー1台 : 23,400円

【メンバー】CL:大西SL鈴木、石田、島田、関、福田、渡辺

【コースタイム】2日:岩舟支所P5:30=新潟港P

8:30/9:40=両津港 10:45=レンタカー11:20=

大野亀P12:30/13:15~ニツ亀P15:00=

よしや本館宿泊 15:15

CLの私にとっては一番心配したのが天気でしたが、岩舟支所で雨が上がり安堵し佐渡へ向け

出発できました。朝の車内はそれぞれ食べたり眠ったり、おしゃべりをしたりおもしろい時間を過ごします。

順調に走り塩沢石打SAでトイレ休憩をとり、休憩後は車窓から4月に訪れた角田山を眺め、これから行く佐渡の話で会話が弾んだ。記憶力抜群のS氏と自称地図音痴のO女、中々会話がかみ合わず眠気を飛ばすにはとても良かった。(ここだけの話)

渋滞になる事もなく新潟港に着き、前回使った駐車場に入る。(順調です)

乗船手続きを済ませ出発時間まで待合室で過ごすが、まさか！お土産も買えないし至って暇です。

案内放送がありジェットfoilに乗り込み席に着きます。(今日は穏やかな海で、揺れが少なく非常に助かりました。) 65分で佐渡両津港に着きますが、その間私には船からの眺めは一切書けません。

ひたすら目をつぶって耐えているのみです。揺れる船から飛び降りやとと落ち着き、佐渡の地に足を置き楽しみにした花に心が馳せます。レンタカーを借り、海岸沿いに走り一路大野亀に向かいます。

海を見ながら爽快に走り、信号が少なく1号車に遅れないようついてゆきます。有り難いことに前にバ



スが走っていて、狭い道路は対向車があるとスピードが出せません。(法定速度厳守)

1時間位走り目的地に到着しました。『ウオ〜きれ〜い』目の前にトビサカンゾウが咲きそろって黄色く見えます。先ずはお腹を満足させるため「レストランおのがめロッジ」に向かいます。

予約が明日！そんな！なんと！そんなこんなの話もすぐ解決！席が決まり安堵して海鮮丼を待ちます。新鮮な海の幸がたっぷり載った海鮮丼が運ばれてきました。早速箸で口

に運ぶと、お魚の新鮮さが喉を通るたびに頷け、『美味しい〜』『うまい〜』と全員口を揃えて納めました。いよいよトビサカンゾウを堪能しに行きます。この風景はNHKの「日本トレッキング100」の番組で見た、そのまんまの映像です。

大野亀・・・海に向かい標高167mの一枚岩が突き出ている姿は圧巻です。『ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン』に二つ星として掲載された巨岩です。あたり一帯に 50 万株！ 100 万本！ものトビシマカン



ゾウの群生地、黄色い花が一面に広がる季節は多くの方が訪れます。

グリーンの中に黄色の花々。絨毯が敷かれているのかなと錯覚を覚えるほど素晴らしい風景です。

私達が大野亀の頂上まで向かうと、案内板に「崩落の為通行禁止」と書かれているので、途中まで登り引き返しました。大野亀の周遊コースを歩くと、花を見に大勢の人達が歩いています。その後大野亀から二ツ亀までの散策コースを歩きました。2台の車で1台を二ツ亀にデポして、片道歩きコ

ースです。

今日は天気が良く暑い本当に暑い(これ以上暑いと言うとお日様に怒られそうです)

海岸沿いに歩くとヒルガオ・イワユリ・ハマナス・アサツキ・オヤマノエンドウ等々、沢山の花が咲き楽しく歩けます。途中、賽の河原に着き、以前来た時の様子を思い出しました。洞窟の中に、幼くして死んだ子供の冥福を祈る10cmほどの地藏仏が無数に祀られ、霊気が漂う場所でした。

途中から二人に車をとりに行ってもらい、5人で二ツ亀をのんびりと眺めました。波のない引き潮時に陸続きなる事を本で読んだので、元気なS女とF氏に勧めると、元気な二人は二ツ亀



に向かって走って行きました。残念ながら潮が満ちだし、二ツ亀まで行くのは諦めたようです。(残念でした)

今日は天気が良すぎ、皆さん汗をかきましたが素晴らしい眺めを堪能できたと思います。



車が戻りまた2台に分乗して今日の宿“二ツ亀よしや本館”に向かいます。静かな旅館で和室に案内されホッと寛ぎ、お茶をいただいてからお風呂に入り、お楽しみの夕食が始まります。

ビールを頼みお酒を追加・・・凄い料理が並んでいます。鯛の姿焼・刺身盛り合わせ・モズク酢・サザエ・・・おけさ柿のデザートとたくさんの料理が並び皆さん大満足です！ところが女将さんがヒラマサとカワハギのお刺身を大皿に2つ持ってきて並べました。新鮮なヒラマサは歯ごたえがあり美味しく、カワ

ハギは身が厚く全員夢中で食べつくしました。

最後に私は鯛茶漬けを堪能しました。これまた『最高！』でした。

部屋に戻るとバタンキューで朝まで夢の中でした。(本当に幸せな時間です)

3日 起床 5:00～海岸散歩＝朝食 7:00～7:45 宿 8:30 出発～弾埼灯台～大野亀～夫婦岩(入崎)～尖閣湾～佐渡金山～両津港 12:15/13:20＝新潟港 14:25～15:20＝岩舟支所P18:00

夜早寝したので朝が早起き、4時頃からゴロゴロして「目が覚める人がいたらいいな」と思っていたら・・・いました！ 皆さん目を覚ましているようです。窓の外を見ると、今日も良いお天気の様です。

私たちの朝の行動はいつも早いのです。布団を片付け身支度を整えて、全員で散歩に出かけます。



宿の前の道を海岸に向かって歩き、崖を階段で下るとセコの浜の港に出ました。

港は日曜日で静かでしたが、イカ釣り漁船や巨大なテラポットなど見ながら散策しました。

集落の間の道を登ると、観音寺と言う立派なお寺ありさらに登ると小学校の脇に出ました。宿の前まで戻り、女将さんが勧めてくれた俳句公園に向かいます。立派な句碑が立ち並び、「こんな場所にもったいないね～」と言いながら見学しました。帰り道、家庭菜園に励んでいる奥様とおしゃべりをしたりして、地元の方との交流ができました。宿に戻るとすぐに

朝ごはんになり、海の幸が並ぶ予想以上の料理に皆さんニコニコ顔でお替りして食べました。

お腹が一杯になった上に、美味しいワカメのお土産を頂き予定通り8時30分から景勝地めぐりです。

最初に訪れたのは佐渡最北端の白い灯台「弾埼灯台」です。＜喜びも悲しみも幾歳月の舞台となった灯台だそうです・・・60数年前の映画です＞テーマソングが流れる仕掛けになっているようです。

昨日感動したトビシマカンゾウをもう一度見るため、大野亀に寄り車から降りて眺めました。

そこから入崎「千本鼻」に寄り、夫婦岩から海岸に降り魚が泳ぐ姿を眺めきれいな水に感動しました。

尖閣湾は入るだけでも入場料を取られるため、サラッと眺めて佐渡金山に向かいます。

ここは、一度訪れた人はパスして5人が「道遊抗コース」を見学しましたが、坑内の気温が低く寒いくらいの温度になっていたため速足で見学します。(年間通して平均気温10度前後との事)



388年間の採掘により、金78t、銀2330tを産出した日本最大の金山です。



佐渡金山のシンボル「道遊の割戸」も眺めて皆さん金粉がのせてあるソフトクリームを頂きます。

ここから両津港まで一走りとなるが、道の駅があるとの情報でそこによって帰る事となりました。

道の駅の駐車場に到着すると、閑散として様子が変でした。中に居た方にお聞きしたところ10年前に閉鎖され、現在は芸術教室になったとの事でした。しかし2014年の地図に載っているし、道路にも道の駅の案内板がそのままになって

います。せっかく寄ったのに、買い物が出来なくてとても残念でした。

帰りに通った所は周囲、約17キロメートルにおよぶ加茂湖の畔です。新潟県最大の湖との事で、カキの養殖が盛んな湖のようです。レンタカーを返却して両津港の乗船場へ行き、ジェットフォイルの改札までフリータイムです。お昼を食べたりお土産を買ったりして、佐渡から新潟へ向かいました。

今日も波が静かで、本当にありがたい航路に感謝です。新潟港から出てすぐの「万代島鮮魚センター」に寄り、最後のお土産を買って岩舟支所に向かいます。北陸道から関越道は順調に走りましたが、最後に岩舟JCTで渋滞があり、佐野田沼ICで降り一般道を通って無事岩舟支所に着きました。

皆様のご協力でトビシマカンゾウの旅がスムーズに終わった事に感謝いたします。
お疲れ様でした。

大西記

